

ラビット通信



2012年(平成24年)

9月3日(月)

第55号

発行 医療法人社団立靖会 ラビット歯科
〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-16-1 RG 八柱ビル3階
TEL (047) 711-7627 FAX (047) 711-7628
<http://www.rabbit-dc.net/> 介護事業所番号: 1232434777

入れ歯でQOLが向上!

入れ歯は食事が摂れるということだけでなく、転倒防止のほか、嚙む事が脳への刺激となり認知症の予防や意欲の向上がみられるなど様々なメリットがあります。また、寝たきりの方が入れ歯を使用することで、立ち上がれるようになったという報告もありQOL向上に大きく影響します。

しかし、ご高齢の方は入れ歯が全然合っていない・最近使用しなくなった。また、歯が抜けたままになっているという方が大変多く見受けられます。そこで今回は入れ歯の作製工程についてご説明します。



入れ歯作製の工程

入れ歯の作製には①大まかな型どり↓
②精密な型どり↓③かみ合わせの調整↓
④試し入れ(試適)↓⑤義歯完成
の5行程があります。そのあとは実際に使用してもらい調整していく必要があります。

①大まかな型どり

図1既成のトレーを使用し上下の大まかな型どりをします。図2左の口腔内模型を使ってその人、専用の個人トレー(図2右)を作製します。



図1 既成のトレー



図2 左は口腔内模型 右は個人トレー

②精密な型どり

個人トレーを使って、お口の中の精密な型をとります。その際、口腔内の形だけでなく筋肉の動きも採っていきます。

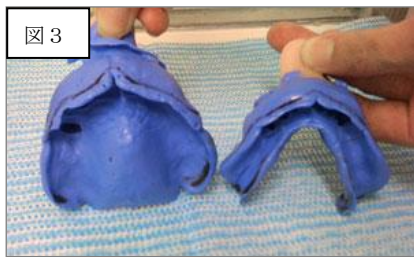


図3

ポイント

口腔内模型は設計図と同じです。より正確な口腔内を再現するため型どりを2回行っています。

③かみ合わせの調整

図3に石膏を流しろうで咬合床(図4)を作製します。咬合床を患者さんのお口に入れて、かみ合わせの位置を決めそれをもとに咬合器に装着します。その後、人工歯を並べて仮の入れ歯を作製します。(図5)



図4 ろうで作った咬合床



図5 咬合器に装着して人口歯を排列

④試し入れ(試適)

ろうで出来た仮の入れ歯を患者さんのお口に入れてみて審美的な要件、かみ合わせの要件等をチェックします。

⑤義歯完成

ろうでできた仮の入れ歯をプラスチックに換えて完成になります。

※その後の調整が非常に重要です!

